

Windows 2000 への Cisco Aironet 340/350 シリーズ クライアント アダプタ用のドライバおよびユーティリティのインストール

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ハードウェアの設置](#)

[PC カードの取り付け](#)

[PCI クライアント アダプタの取り付け](#)

[ドライバのインストール](#)

[ユーティリティのインストール](#)

[インストールの検証](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Windows 2000 への Cisco Aironet 340 および 350 ワイヤレス LAN クライアント アダプタ用のドライバおよびユーティリティのインストールについて説明します。このインストールは、Install Wizard ファイルを使用しない旧バージョンのクライアント アダプタ ソフトウェア用です。ただし Cisco Aironet ワイヤレス LAN クライアント アダプタのための最新の組み込まれたファイルを必要とすれば Windows 98 を使用する、2000 年、私、NT または XP は [Aironet クライアント アダプタ インストール ウィザード \(登録ユーザのみ\)](#) に、行きます。インストール ウィザードをクライアントソフトウェアをアップグレードするのに使用する方法に関する詳細については [Aironet クライアント アダプタのためのインストール ション コンフィギュレーション ガイドの章](#)を参照して下さい第 3。

注: ここに記述されているインストール方式は Windows 95、Windows 98 および Windows NT に使用するそれらに類似したです。いくつかの主な違いはあります。 [Windows 95 ドライバおよびユーティリティをインストールすること](#)、 [Windows 98 のためのドライバをインストールするか](#)、または詳細については [Windows NT のためのドライバをインストールすること](#)を参照して下さい。

前提条件

要件

インストールを完了するために、必要とします:

- Cisco Aironet 340 または 350 シリーズのクライアント アダプタ カード
- クライアントアダプタカードに伴うか、または[シスコワイヤレスソフトウェアセンター](#) ([登録ユーザのみ](#)) からダウンロードできる CD-ROM で見つけることができるユーティリティ、および Windows 2000 ドライバ。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Toshiba Tecra8000 ラップトップ コンピュータ (Microsoft Windows 2000 Professional が動作)
- Cisco Aironet クライアント アダプタ AIR-PCM342 (ファームウェア バージョン 4.23 を装備)
- ネットワーク ドライバ インターフェイス仕様 (NDIS) ドライバ バージョン 6.64
- Aironet クライアント ユーティリティ バージョン 4.15

ドライバおよびソフトウェアの新しいバージョンを使用してインストールは同じまたは類似したです。公式ドキュメンテーションの [340 シリーズ](#) および [350 シリーズ](#) クライアントアダプタの *Windows のための Cisco Aironet ワイヤレス LAN クライアント アダプタ インストール コンフィギュレーション ガイド* を参照して下さい。

[340 シリーズ](#) および [350 シリーズ](#) 両方用のリリース ノートのインストールのための他の有用および最新情報は見つけることができます。

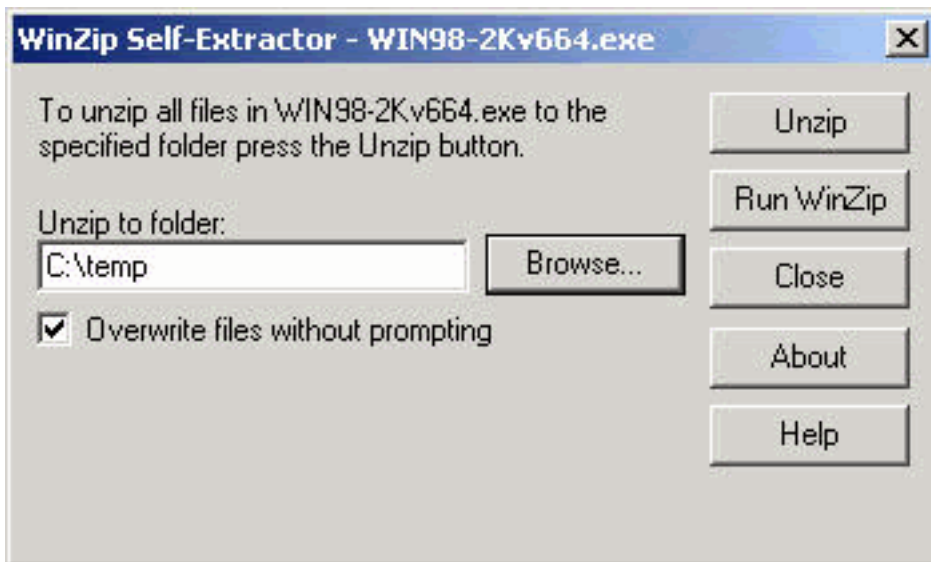
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメント内で使用されているデバイスはすべて、クリアな設定 (デフォルト) から作業を始めています。実稼働中のネットワークではたらく場合、あらゆるコマンドの潜在的影響を最初に理解するようにして下さい。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ハードウェアの設置

注: 適切なドライバが付いている CD-ROM がない場合、Cisco Aironet クライアントアダプタによってコンピュータの Network Interface Cards を取り替える前にドライバをダウンロードして下さい。ドライバをダウンロードする場合、自己解凍型アーカイブを一時フォルダに拡張し、C:\temp のようなフォルダのパスに、注意して下さい。



PC カードの取り付け

PC カードをインストールするために次の手順に従って下さい。

1. PC カードを検査して下さい。カードの一端に 2列が、68 ピン PC カード コネクタあります。カードはそれが PC カード スロットに 1つのただ方法挿入することができるようにキー入力されます。
2. シスコのロゴがある面を上にして PC カードを持ち、PC カードのスロットに挿入します。十分にただ確かめるには負荷を適用して下さい完全に装着されしていることを。**注意：**コンピュータの PC カード スロットに PC カードを強制しないで下さい。無理に押し込むと、カードとスロットの両方が破損するおそれがあります。
3. PC カードを簡単に挿入できない場合は、いったん取り出してから、再度挿入します。

PCI クライアント アダプタの取り付け

PCIクライアントアダプタをインストールするためにこれらのステップを完了して下さい。

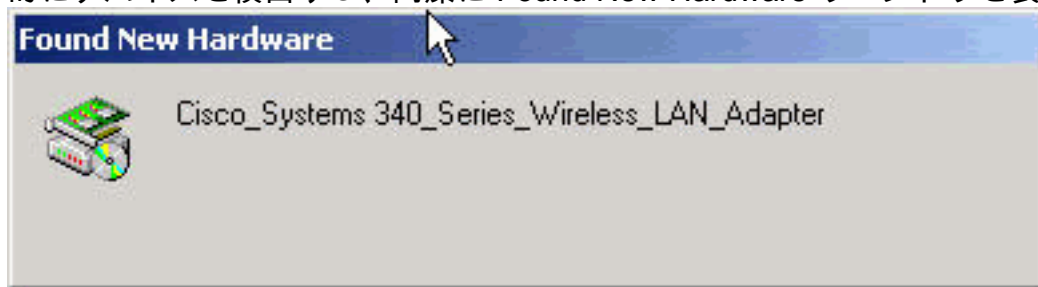
1. PC とそのすべてのコンポーネントの電源をオフにします。
2. コンピュータのカバーを取り外します。
3. CPU 背面パネル上部の空の PCI 拡張スロットの上にあるネジを取り外します。このネジは、背面パネル上の金属製のブラケットを留めています。**注：**ほとんどの Pentium PC では、PCI 拡張スロットは白色です。スロットを識別するには、PC のマニュアルを参照してください。
4. クライアント アダプタを確認します。アダプタを取り付けると、アンテナ コネクタと LED がコンピュータの外側を向き、カバーを元に戻したときに見えるようになります。アダプタの下端は、コンピュータの空き拡張スロットに挿入するコネクタです。**注意：**静電気が原因でクライアント アダプタが破損するおそれがあります。帯電防止パッケージからアダプタを取り外す前に、接地された PC の金属部分の接触によってスタティックを放電して下さい。
5. アンテナ コネクタおよび LED が CPUバックパネルの開始をスリップできるようにアダプタを傾けて下さい。クライアント アダプタを空のスロットに差し込んで、コネクタが確実に収まるまで押します。**注意：**アダプタを無理に拡張ソケットに押し込まないでください。無理に押し込むと、アダプタとスロットの両方が破損するおそれがあります。アダプタを簡単に挿入できない場合は、いったん取り出してから、再度挿入します。

6. CPU のバックパネルのネジを再インストールし、コンピュータカバーを交換して下さい。
7. 手で締められているまでアダプタのアンテナ コネクタに 2 dBi アンテナを接続して下さい。
締めすぎないように注意してください。最適受信に関しては、アンテナを置いて下さい
そうすればまっすぐなアップです。
8. コンピュータを再起動します。

ドライバのインストール

ドライバをインストールするには、次の手順を実行します。

1. コンピューティング デバイスにクライアントアダプタを挿入した後、Windows 2000 は自動的にデバイスを検出する、簡潔に Found New Hardware ウィンドウを表示する。



Driver ウィザード ウィンドウはドライバのインストールプロセスによって開き、ガイドします。CiscoエアロネットシリーズワイヤレスLANアダプタ CD-ROM がある場合、それを CD-ROMドライブに挿入して下さい、『Next』をクリックして下さい。注: ドライバ、ファームウェアまたはユーティリティを持たないか、または新しいバージョンをダウンロードし、[シスコワイヤレスソフトウェアセンター \(登録ユーザのみ\)](#) に行き、適切なファイルをダウンロードすると続きたいと思えば手順はそこに見つけました。

2. [ハードウェア デバイス ドライバのインストール] ウィンドウが開かれて、検索方法を選択するように指示されます。[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択したら、[次へ] をクリックします。

Found New Hardware Wizard

Install Hardware Device Drivers

A device driver is a software program that enables a hardware device to work with an operating system.



This wizard will complete the installation for this device:



Cisco_Systems 340_Series_Wireless_LAN_Adapter

A device driver is a software program that makes a hardware device work. Windows needs driver files for your new device. To locate driver files and complete the installation click Next.

What do you want the wizard to do?

- Search for a suitable driver for my device (recommended)
- Display a list of the known drivers for this device so that I can choose a specific driver

< Back

Next >

Cancel

3. ドライバファイルのある場所を選択して、ウィザードに検索させます。フロッピーディスクからインストールする場合、すべてのその他のオプションを『Floppy disk drives』を選択し、選択解除して下さい。抽出されたドライバファイルが付いているフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、『Next』をクリックして下さい。CD-ROMからインストールする場合、すべてのその他のオプションを『CD-ROM drives』を選択し、選択解除して下さい。CiscoエアロネットシリーズワイヤレスLANアダプタ CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、『Next』をクリックして下さい。ハードドライブでフォルダからインストールする場合、すべてのその他のオプションを『Specify a location』を選択し、選択解除して下さい。次に [Next] をクリックします。

Found New Hardware Wizard

Locate Driver Files

Where do you want Windows to search for driver files?



Search for driver files for the following hardware device:



Cisco_Systems 340_Series_Wireless_LAN_Adapter

The wizard searches for suitable drivers in its driver database on your computer and in any of the following optional search locations that you specify.

To start the search, click Next. If you are searching on a floppy disk or CD-ROM drive, insert the floppy disk or CD before clicking Next.

Optional search locations:

- Floppy disk drives
- CD-ROM drives
- Specify a location
- Microsoft Windows Update

< Back

Next >

Cancel

『Specify a location』を選択した場合、ウィザードはドライバファイルの位置のために問い合わせます。ファイルを抽出し、『OK』をクリックするフォルダのためのパスを入力して下さい。注: この同じクエリは『Next』をクリックした前に適切なドライブに挿入しなかったらディスクを『Floppy disk drives』を選択したが、または **CD-ROM** ドライブ現われます。適切なディスクを挿入し、続くために『OK』をクリックして下さい。

Found New Hardware Wizard



Insert the manufacturer's installation disk into the drive selected, and then click OK.

OK

Cancel

Copy manufacturer's files from:

C:\temp

Browse...

4. ウィザードがインストールファイルを見つけて、クライアントアダプタのドライバが表示されたら、[次へ]をクリックして必要なファイルをコピーします。

Found New Hardware Wizard

Driver Files Search Results

The wizard has finished searching for driver files for your hardware device.



Cisco_Systems 340_Series_Wireless_LAN_Adapter

Windows found a driver for this device. To install the driver Windows found, click Next.



c:\temp\netx500.inf

< Back

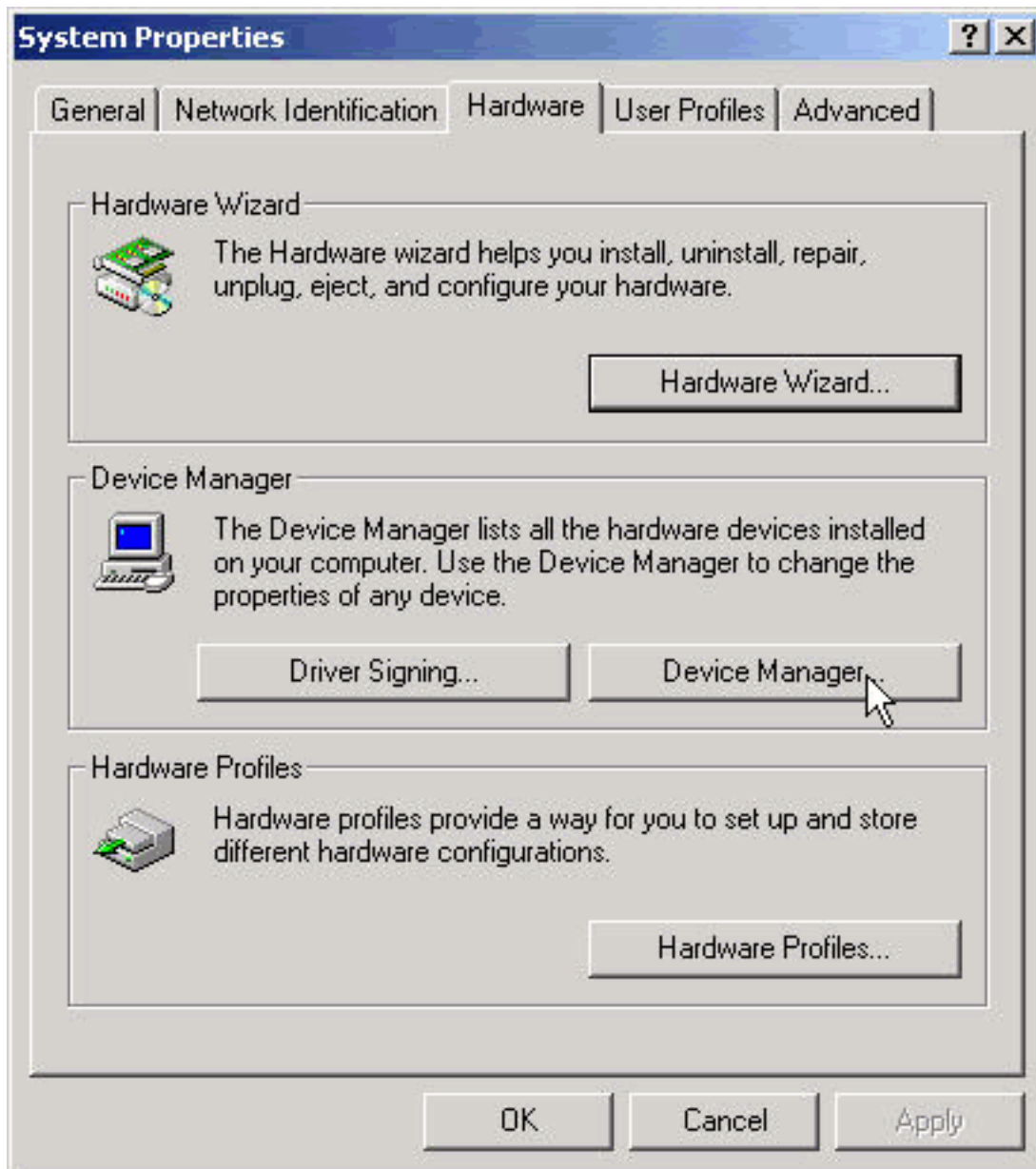
Next >

Cancel

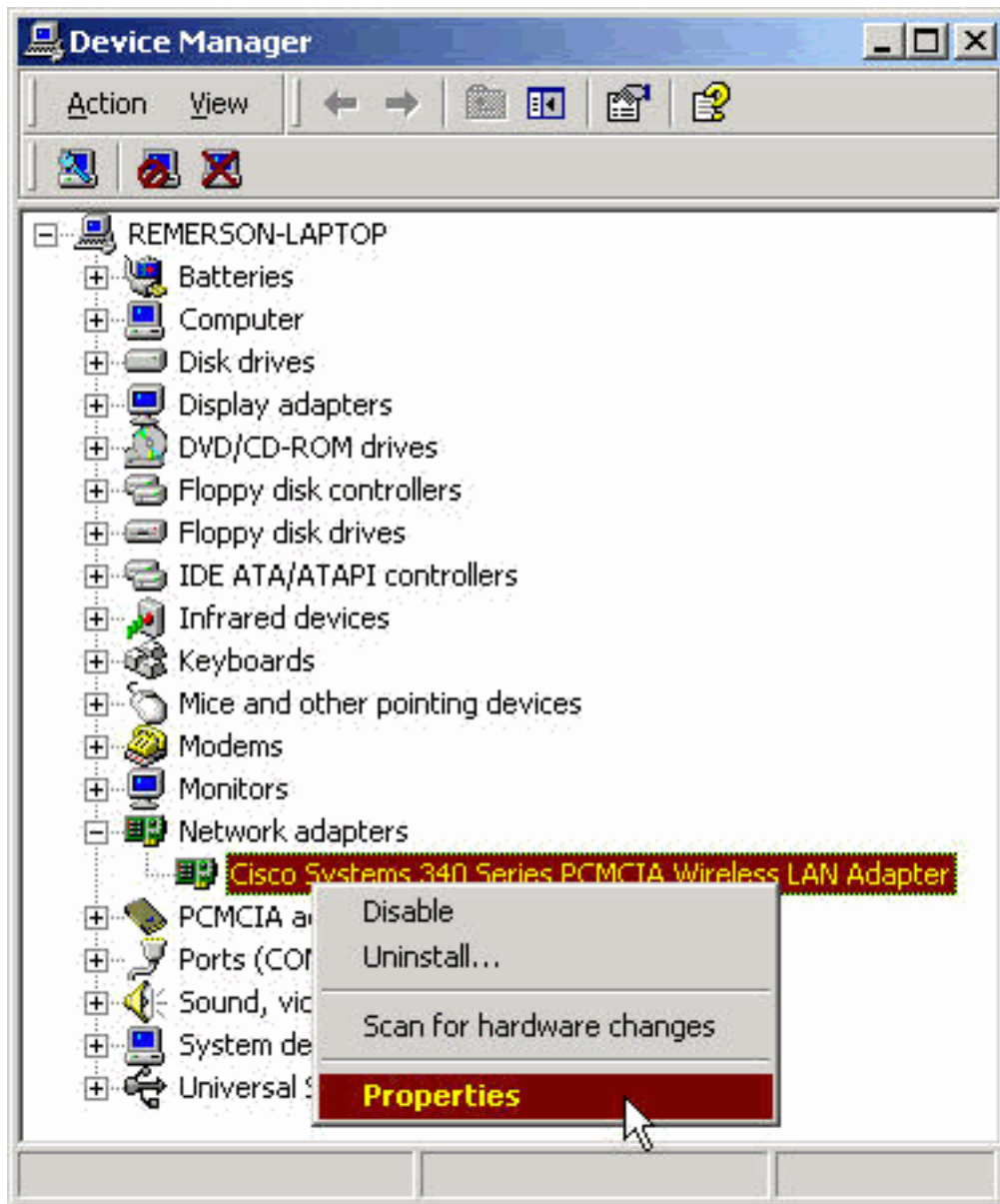
5. Windows はインストールを終了したことを示すメッセージを受け取るとき、『Finish』をクリックして下さい。



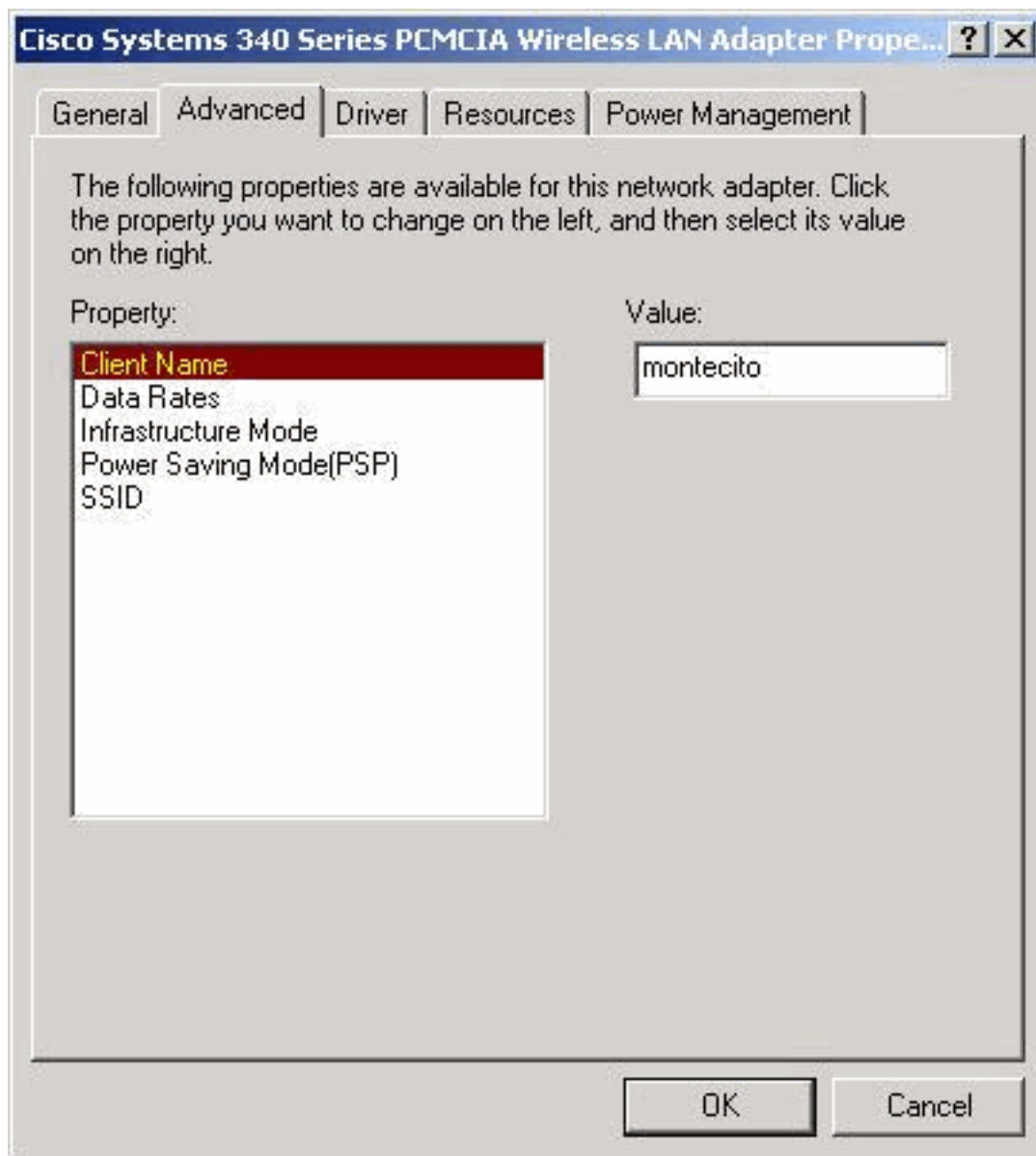
6. フロッピーディスクか CD-ROM を取除いて下さい。
7. マイコンピュータを、コントロール パネル、システム ダブルクリックして下さい。
System Properties ウィンドウで、**Hardware タブ**を選択し、『Device Manager』をクリックして下さい。



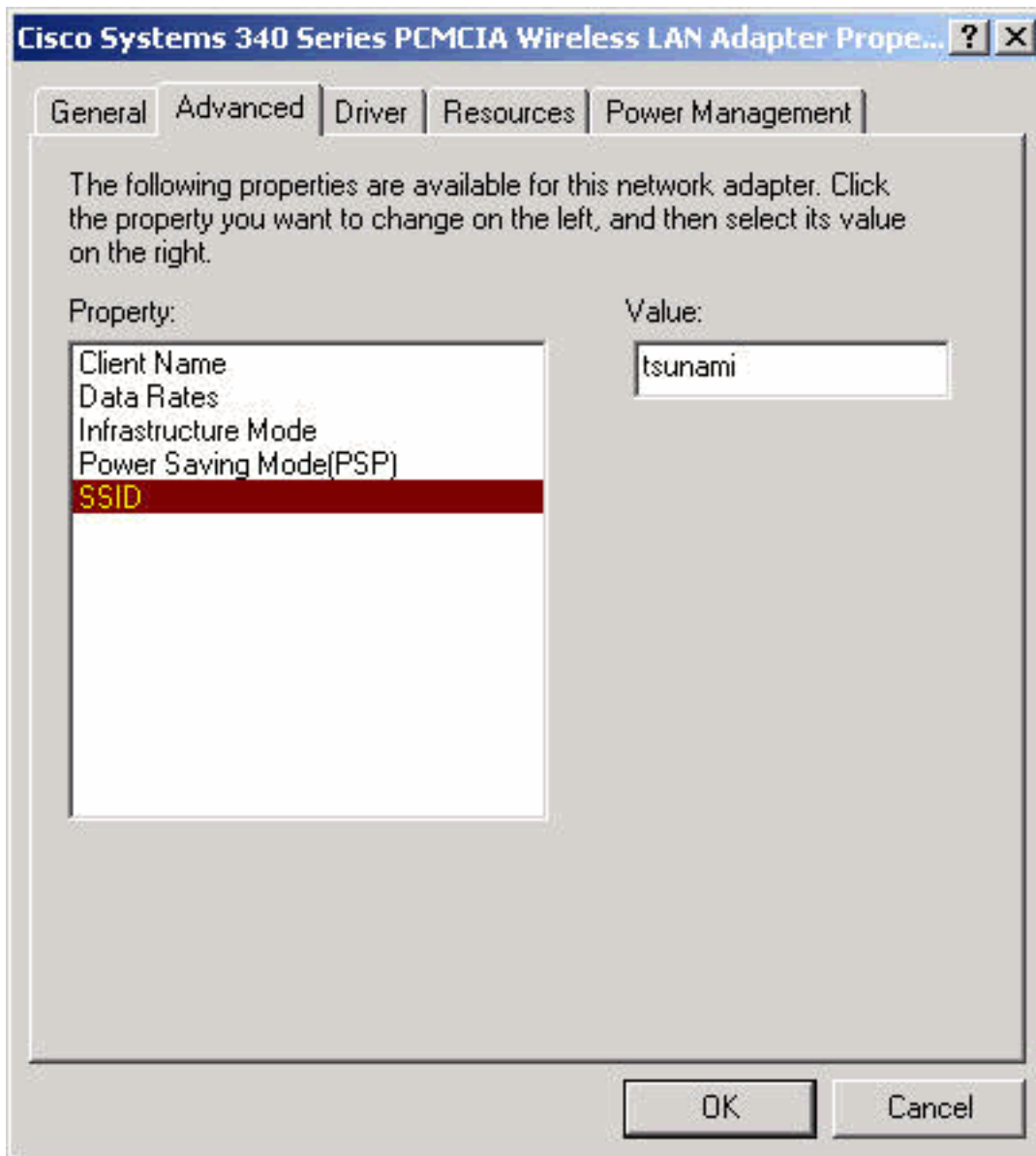
8. Device Manager ウィンドウでは、ネットワークアダプタをダブルクリックして下さい。シスコシステムズ ワイヤレスLANアダプタ デバイスを右クリックし、ショートカットメニューから『Properties』を選択して下さい。



9. Properties ウィンドウで、Advanced タブを選択して下さい。左の Property カラムから『Client Name』を選択し、そして Value フィールドの固有のクライアント名をタイプして下さい。ここでは例示目的でクライアント名として *montecito* が表示されています。入るために正しいクライアント名を判別するようにネットワーク管理者に連絡する必要がある場合もあります。



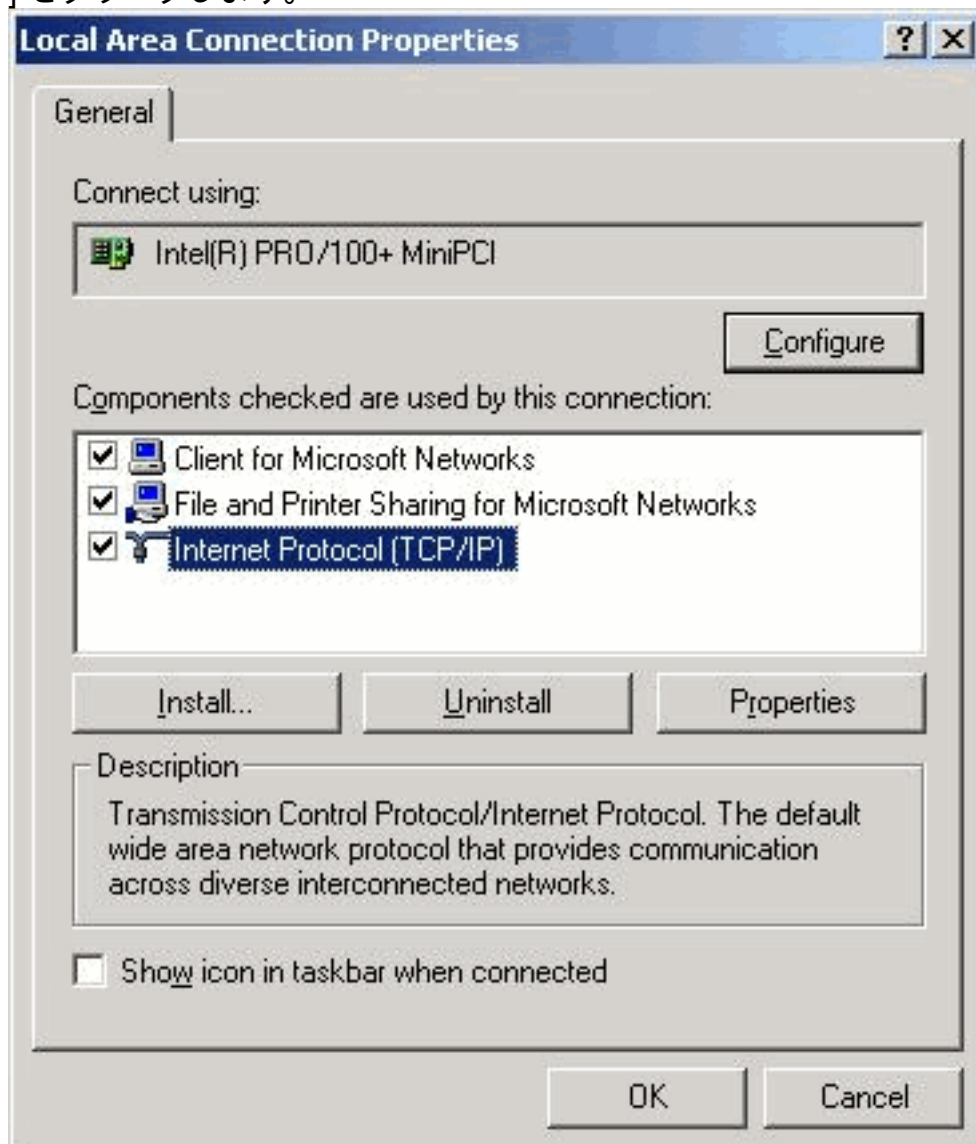
10. [Property] 列から [SSID] を選択します。RF (Value フィールドのネットワークのための大文字/小文字の区別がある) SSID を入力して下さい。ここでは例示目的でデフォルトの SSID *tsunami* が表示されています。 入るために正しい SSID を判別するようにネットワーク管理者に連絡する必要がある場合もあります。 [OK] をクリックして [Properties] ウィンドウを閉じます。



11. コンピュータが自動的に DHCPサーバからの IP アドレスを (ネットワーク管理者とこれをチェックして下さい) 得なかったら、次の手順に従って下さい。[マイ コンピュータ]、[コントロール パネル]、[ネットワークとダイヤル ネットワーク接続] の順にダブルクリックします。[ローカル エリア接続] を右クリックして、ショートカット メニューから [プロパテ

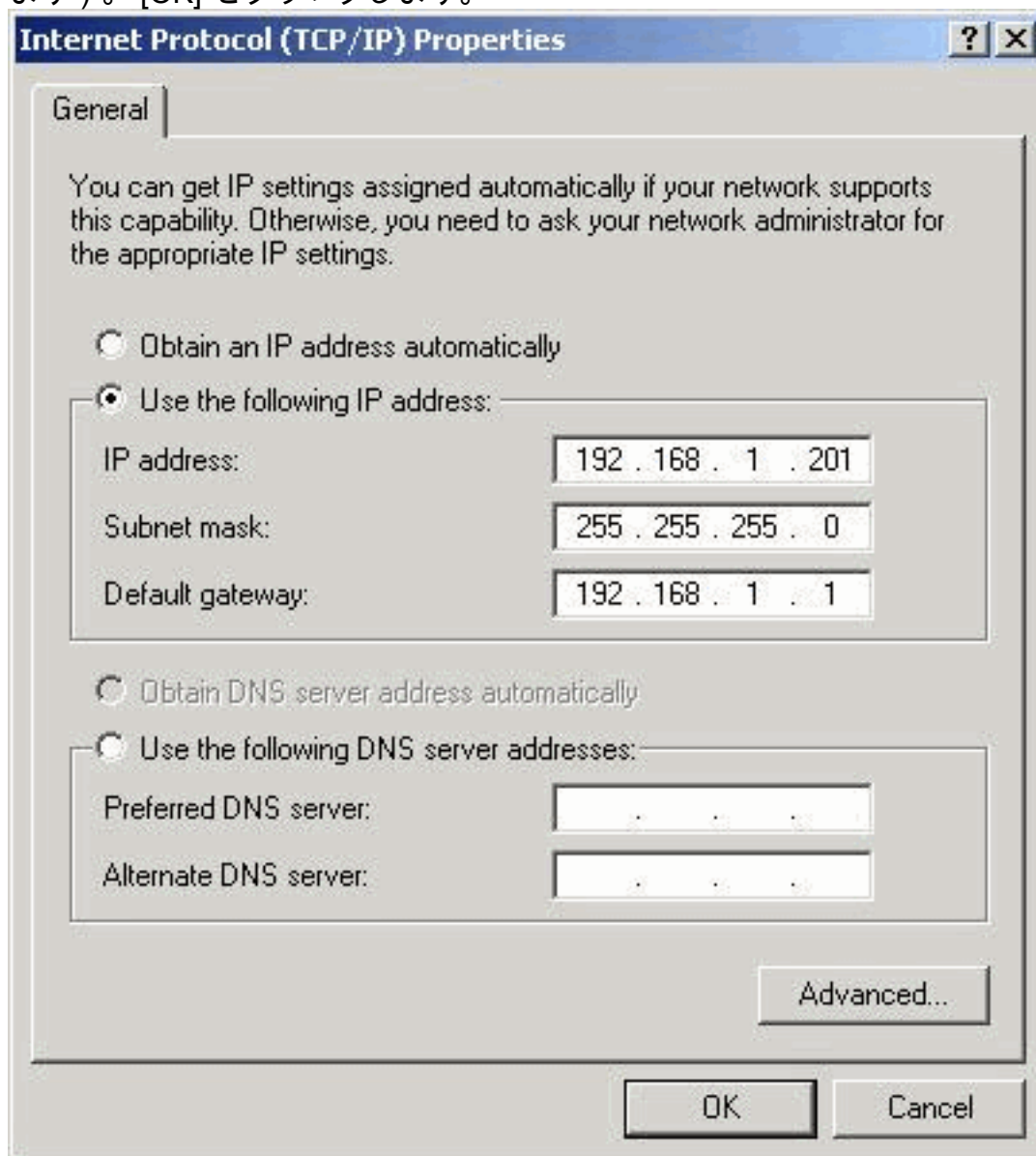


イ]を選択します。コンポー
ネットのリストから、[インターネット プロトコル (TCP/IP)]を選択したら、[プロパティ
]をクリックします。



[次の IP アドレスを使う]を選択して、コンピュータの IP アドレス、サブネット マスク、およびデフォルトのゲートウェイを入力します。（この情報はシステム アドミニストレータから得ることができ

ます)。 [OK] をクリックします。



[ローカル エリ

ア接続のプロパティ] ウィンドウで、[OK] をクリックします。

12. コンピュータを再起動するように指示されたら、[はい] をクリックします。ドライバのインストールはこれで終了しました。

ユーティリティのインストール

Windows 2000 に適切なドライバをインストールし終えたら、Aironet Client Utility (ACU)、Link Status Meter (LSM)、および Client Encryption Manager (CEM) などのユーティリティをインストールすることができます。

注: LSM および CEM ユーティリティは ACU バージョン 5.01 および それ 以降にマージされます。ACU バージョン 5.01 以降を使用する場合は、これらのユーティリティをインストールしないでください。

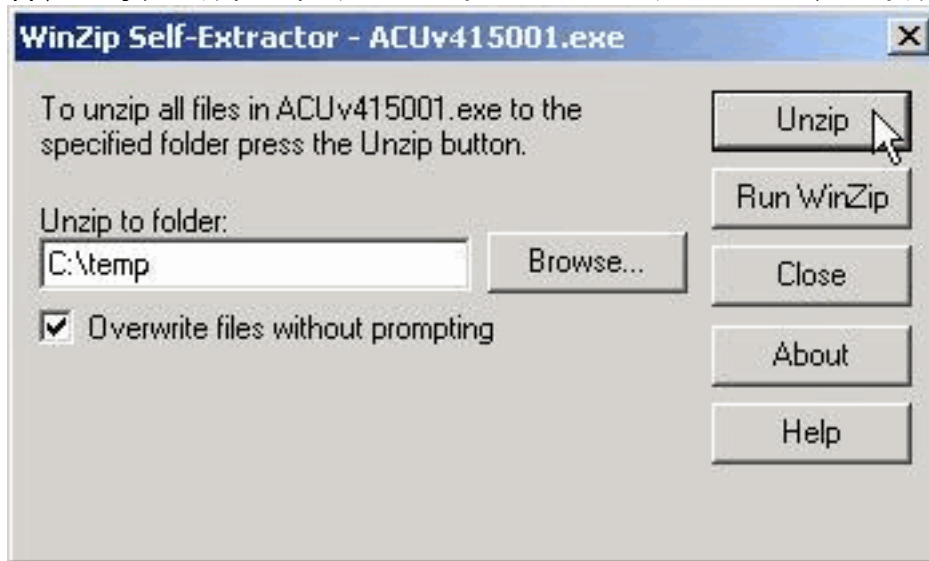
- ACU を使用すると、クライアント アダプタを設定し、サーバベースの認証を使用可能にし、さらに Wired Encryption Privacy (WEP) 機能を有効にできます。
- LSM はトラブルシューティングとステータス情報を提供します。
- CEM では、クライアント アダプタに 1 つ以上の WEP キーを設定できます。

注: [コンピュータに CD-ROM ドライブが装備されていない、または Cisco Aironet シリーズワイ](#)

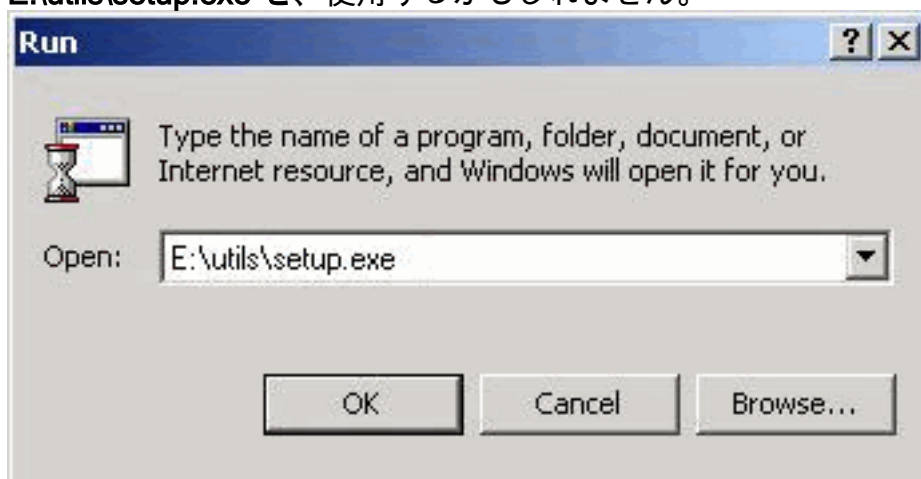
ヤレス LAN アダプタ用 CD を所有していない場合は、シスコソフトウェアセンター からユーティリティをダウンロードしてください。「ワイヤレス ソフトウェア製品 - Cisco Aironet のドライバとユーティリティ」の下から、自分のコンピュータの OS および適切なユーティリティを選択します。

Windows 2000 のためのクライアントユーティリティをインストールするためにこれらのステップを完了して下さい。

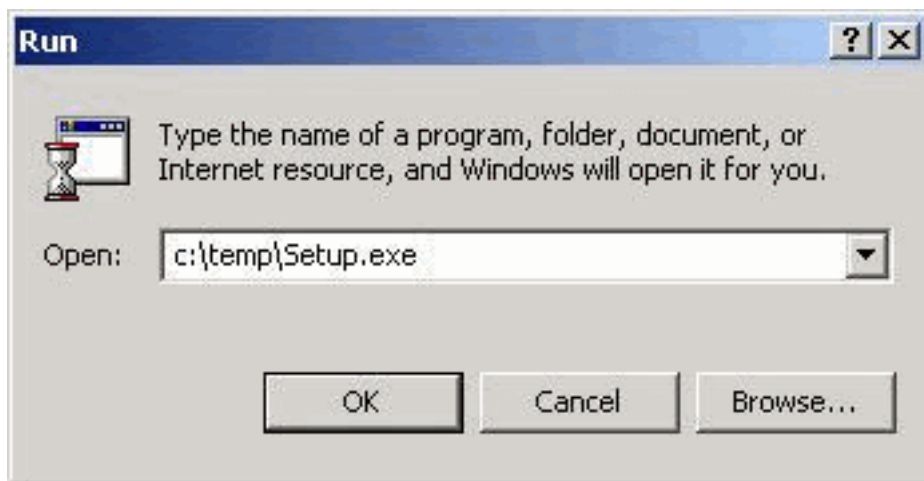
1. 動作中の Windows プログラムをすべて終了します。
2. CD-ROM からインストールする場合、CD-ROMドライブに Ciscoエアロネットシリーズ ワイヤレスLANアダプタ CD-ROM を挿入して下さい。ユーティリティをダウンロードした場合、一時フォルダにダウンロードされたパッケージからファイルを抽出して下さい。



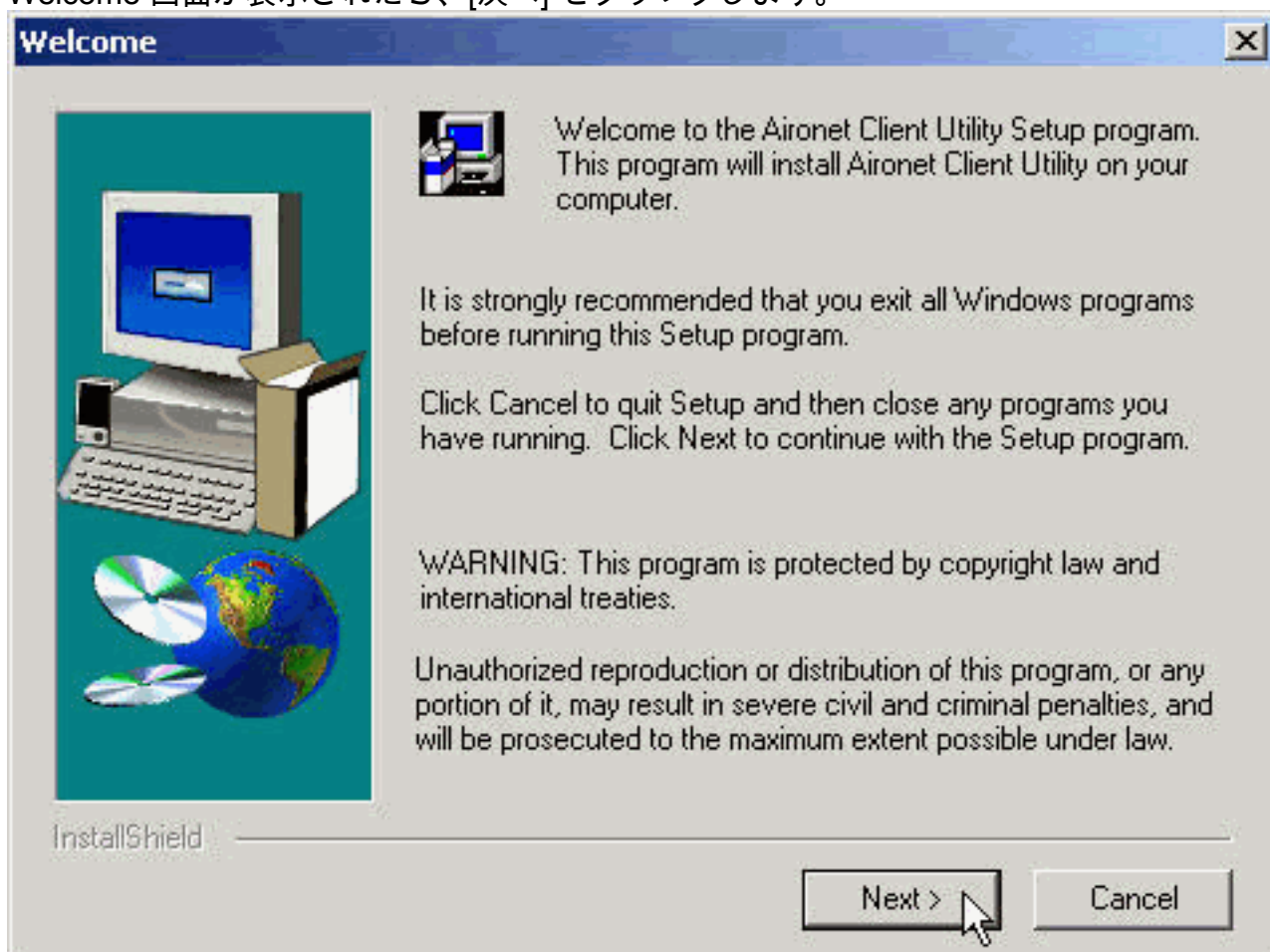
3. 次のいずれかの手順を実行して、ユーティリティのセットアッププログラムを開始します。CD-ROM からユーティリティをインストールする場合、(E が CD-ROMドライブの文字であるかところで) このパスを Start > Run の順に選択し、タイプして下さい:
E:\Utilities\ACU\setup.exe。CD-ROM の異なるバージョンはここに示されているようにパス **E:\utils\setup.exe** を、使用するかもしれません。



ユーティリティをダウンロードしたら、[Start] > [Run] を選択し、ファイルを抽出した一時フォルダのパスを入力します。下記の例は c:\temp\Setup.exe のパスを表示します。

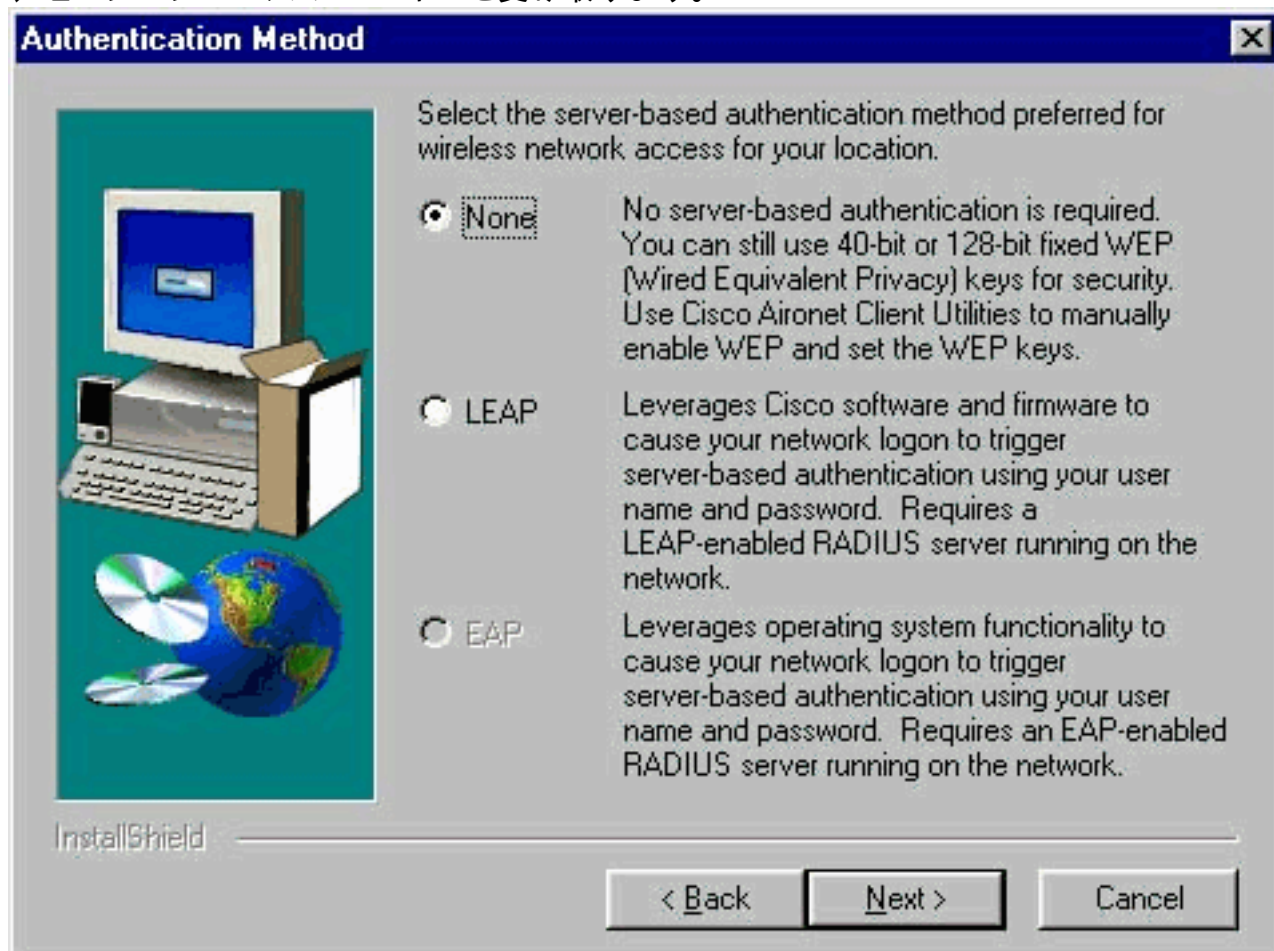


4. Welcome 画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

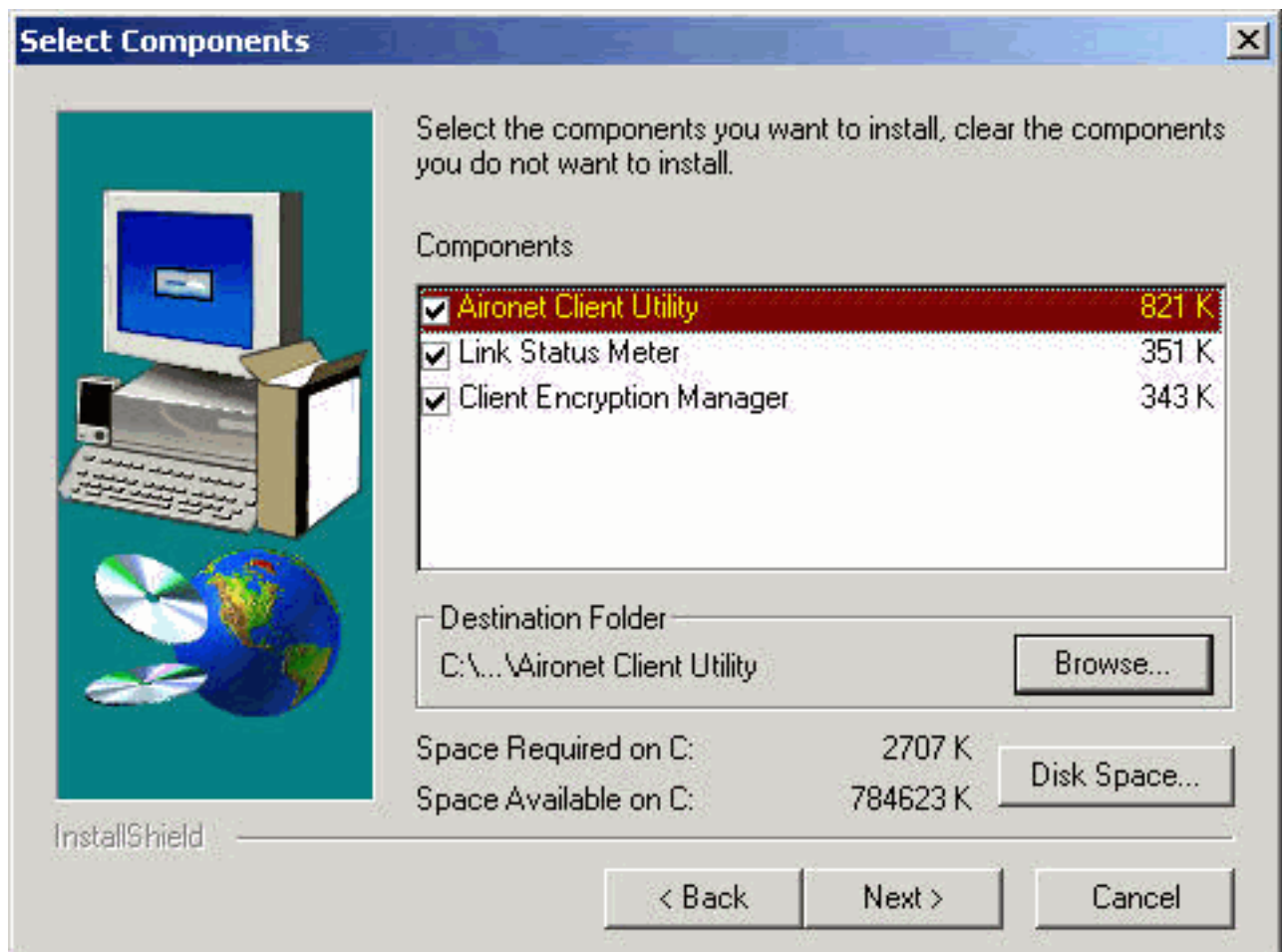


5. [Authentication Method] ウィンドウで、現在の場所のワイヤレス ネットワーク アクセスに適したサーバベースの認証方法を選択し、[Next] をクリックします。デフォルト値を選択する場合、**どれもクライアントアダプタのために、サーバベース認証 有効になりません。**セキュリティ機能、または選ぶことができた後あなたを設定しないためにクライアントユーティリティ インストールが、WEPキーの使用によってセキュリティレベルをアクティブにすることができます。設定 WEPキーに関する説明に関しては [Cisco Aironet Wireless LAN アダプタ ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド](#)を CEM を使用して WEP によって ACU 有効になる参照しか、または [WEP の設定](#)を参照して下さい。EAP 対応の RADIUS サーバがネットワークで動作しているときに、[LEAP] を選択すると、クライアント アダプタで LEAP が有効になります。LEAP が有効になった、コンピュータがリブートされる後、クライアントアダプタは RADIUSサーバに認証し、ネットワークログオンを使用し、セッションベースのWEPキーを受け取ります。[EAP] は、一部のバージョンまたは一部のオペレーティング システムでは選択できません。EAP が利用できればおよびそれを選択すれば、

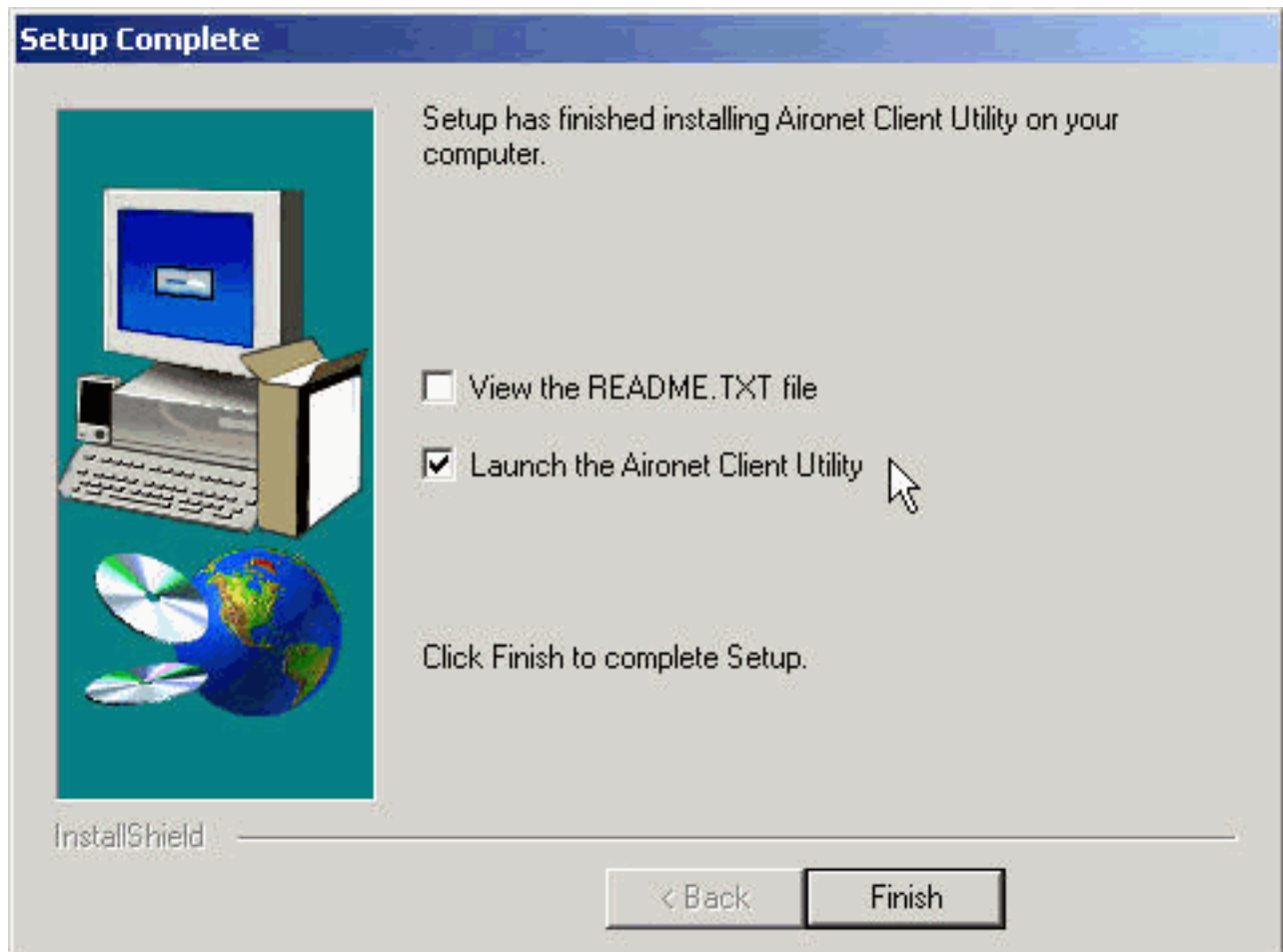
EAP使用可能なRADIUSサーバがネットワークで動作すれば、クライアントアダプタのEAP有効。コンピュータが組み込みEAPサポートとオペレーティングシステムを使用しない場合、このオプションは利用できません。EAPが有効になった、コンピュータがリブートされる後、クライアントアダプタはRADIUSサーバに認証し、ネットワークログオンを使用し、セッションベースのWEPキーを受け取ります。



6. Select Components ウィンドウで、インストールしたいと思う選択し、インストールしたくないと思う選択解除して下さいクライアントユーティリティを。 [Next] をクリックします。



7. Select Program Folder 画面では、[次へ] をクリックして、クライアント ユーティリティのアイコンを Cisco Aironet フォルダに配置します。
8. Setup Complete ウィンドウでは、これらの 1 つを行って下さい:ステップ 5 のサーバベース認証を『No』を選択した場合、『Launch the Aironet Client Utility』を選択し、『Finish』をクリックして下さい。ACU が開き、クライアント アダプタを設定できます。



ステップ5の『LEAP』を選択したりまたはEAPサーバベース認証、『Yes』を選択して下さい、マイコンピュータを今再起動したいと思いCD-ROMドライブからCD-ROMを取除き、『Finish』をクリックします。コンピュータが再起動したら、ネットワークログイン画面でユーザ名とパスワードを入力します。上記のEAPおよびLEAPセクションに説明がある出来事の順序の後でクライアントアダプタはサーバにクライアントアダプタがEAP対応のアクセスポイントに関連付けるために設定されれば、認証し、セッションベースのWEPキーを受け取ります。これで、ユーティリティのインストールは完了です。各ユーティリティの使用手順については、「[Cisco Aironet ワイヤレス LAN アダプタ向けソフトウェア設定ガイド](#)」を参照してください。

インストールの検証

きちんと適切なドライバおよびクライアントユーティリティをインストールしたことを確認するために、デスクトップのACUアイコンのダブルクリックによってACUを開いて下さい。正常にインストールされている場合は、Aironetクライアントユーティリティの画面の左下隅に、クライアントアダプタがアクセスポイントに関連付けられていることが示されます。

クライアントアダプタが認証され、セッションベースのWEPキーを受け取ったことを確認するために(クライアントアダプタのイネーブルになったLEAPかEAP)、デスクトップのシステムトレイをチェックして下さい。2台のコンピュータが接続されたような形状のWepStatアイコンがシステムトレイに表示され、LEAPまたはEAPが認証されたこと、およびWEPが有効になっていることが示されます。さらに、LEAPかEAPおよびイネーブルWEPはACUのNetwork Security画面で選択されます。詳細については、[WEPの設定](#)を参照して下さい。

関連情報

- [Cisco Aironet ワイヤレス LAN クライアント アダプタ](#)
- [ワイヤレスに関するサポート リソース](#)
- [よくある問い合わせ : ワイヤレスLAN](#)
- [WEP の設定](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)